

先日、プール学習で大波のやり方を、異動してきた先生から教わりました。けっこうはまっています。ところで、渦巻きにしる大波にしる、子ども達を水に慣れさせるだけでなく、塩素を均等にかき混ぜるためにも行うのですよね。大波の場合はあふれださせてしまうとも言えますけど。(^^)

プ ー ル

=====

子子子子子子子子子子子子

1. 子ども達を、図のように多少間隔を空けて横隊で並ばせます。

子子子子子子子子子子子子

2. 笛の合図で前に歩いたり、後ろに歩いたりします。

子子子子子子子子子子子子

コツ1 子ども達は全員手をつなぎます。

コツ2 肩までつかるとよいです。

子子子子子子子子子子子子

コツ3 列を乱さず、きれいに並んだまま歩かせます。

=====

コツ4 笛の合図 私の場合

ピッピッピッ 前進
ピピーッピピーッ 後進

さらにジェスチャーをつけて、プールの中の子ども達に指示が分かりやすくします。

3. そのうちに、波が出てきます。そのうちの一つに目をつけて、その波が前進する時は子ども達も前進。プールの縁に当たって後進したら、そのタイミングに合わせて子ども達を後進させます。波と子ども達のタイミングが合うように指示が出せれば、波は見る見る大きくなります。

4. ある程度、波が大きくなったら、「波乗りタイム!!」波は数分間は持ちます。波の高さは水面からプールの縁くらいまでです。

これ、うまくいくと大波は起こるは、プールサイドは水びだしになるは、もう大変。一度目はなかなかうまくいきませんが、子ども達が一度味を占めると、とっても協力性が出てくるので、二度目の方がうまくいくかもしれません。

「みんなが力を合わせたから、こんな大きな波ができたんだよ。」
たとえば、協力性の大切さも教えられると思います。学校のプールでしかできないことって、例えば着衣泳とか、けっこうありますよね。ぜひ、この夏にお試してください。